

研修機関が公表すべき情報の内訳

公開する情報の種類		内 容																													
研修機関情報	法人情報	法人格・法人名称・住所等	株式会社 福祉情報センター 広島市西区観音新町2-2-15																												
		代表者名, 研修事業担当理事・取締役名	代表取締役 西島 英正 代表取締役 小林 薫 取締役 入江 豊 監査役 西島 友子																												
		理事等の構成, 組織, 職員数等	役員 4名 27% 社員 9名 60% パート 2名 13%																												
		事業概要	介護員養成研修2級課程, 介護職員基礎研修課程, 全身性障害者外出介護従業者養成研修及び視覚障害者外出介護従業者養成研修の講座を中心に, 介護員の養成, 技能向上のための各種講座の開講																												
		介護保険事業	平成18年12月ヘルパーステーション「福ちゃんち」開業 平成19年1月居宅介護支援事業所「福ちゃんち」開業																												
		資本金	700万円																												
		研修機関情報	研修機関情報	事業所名称・住所等	株式会社 福祉情報センター 広島市西区観音新町2-2-15																										
理 念	ヒューマンスキル「人間力」の人材育成 社員と社会に還元する経営																														
学 則	ホームページ上にて情報開示 (ホームページアドレス http://www.f-j-s.net)																														
研修施設, 整備	講義室①(講義用), 講義室②(演習用), 講義室③(講義・演習用) 講義室②には電動ベッド2台, 簡易ベッド2台を常設																														
沿 革	平成15年12月長崎県で設立, 翌年1月より養成事業開始。平成16年4月から広島県でも養成事業を始める。平成18年4月に広島市西区観音新町に本社移転。																														
事業所の組織, 職員数等	取締役会・役員会の下に養成事業本部を置く。養成事業本部は、営業企画部・講座管理部・講座運営部・広報部から構成される。営業企画部4名, 講座管理部3名, 広報部1名の陣容で, パート職は各部署に振り分けて配置。																														
研修事業情報	研修の概要	対 象	一般 介護員養成研修2級課程以上の修了者で1年以上の介護等の実務経験者 年6回毎土曜日もしくは毎日曜日(13回)の講義演習及び終了日(修了式) (下記表は2月開講日程) 講義演習は各回とも9:00~17:00(1日7時間の学習, 随時休憩あり)																												
		研修のスケジュール (期間, 日程, 時間数)	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>第1回</td><td>第2回</td><td>第3回</td><td>第4回</td><td>第5回</td><td>第6回</td><td>第7回</td> </tr> <tr> <td>2月13日</td><td>2月20日</td><td>2月27日</td><td>3月6日</td><td>3月13日</td><td>3月20日</td><td>3月27日</td> </tr> <tr> <td>第8回</td><td>第9回</td><td>第10回</td><td>第11回</td><td>第12回</td><td>第13回</td><td>修了式</td> </tr> <tr> <td>4月3日</td><td>4月10日</td><td>4月17日</td><td>4月24日</td><td>5月1日</td><td>5月8日</td><td>5月15日</td> </tr> </tbody> </table>	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	2月13日	2月20日	2月27日	3月6日	3月13日	3月20日	3月27日	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	修了式	4月3日	4月10日	4月17日	4月24日	5月1日	5月8日	5月15日
		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回																							
		2月13日	2月20日	2月27日	3月6日	3月13日	3月20日	3月27日																							
		第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	修了式																							
4月3日	4月10日	4月17日	4月24日	5月1日	5月8日	5月15日																									
定員(集合研修, 実習)と指導者数	20名 指導者数 8名																														
研修受講までの流れ (募集, 申し込み)	募集⇒申込⇒申込確認書発送⇒介護員養成研修2級課程修了証明書の写し及び介護業務実務経験証明書受領⇒受講料納付⇒受講決定通知書発送(その他資料)⇒開講(テキスト・添削問題等配布)																														
費 用	98,000円(テキスト代 6,000円, 消費税込み) その他講座に関する諸経費も受講料に含む。																														
課程編成責任者	課程編成責任者の略歴, 資格	留意事項, 特徴, 受講者へのメッセージ等	申込確認書発送時に留意事項が記載されたもの(学則等)を同封して通知。																												
		課程編成責任者名	中山 大輔 介護福祉士(平成13年5月9日) 介護支援専門員(平成16年3月7日) 財団法人広島原爆被爆者援護事業団 原爆養護ホーム倉掛のぞみ園(11年10ヶ月)																												

研修機関が公表すべき情報の内訳

研修事業情報	研修 カリキュラム	科目別シラバス	<ul style="list-style-type: none"> (1) 生活支援の理念と介護における尊厳の理解 (4) 認知症の理解 (5) 介護におけるコミュニケーションと介護技術 (7) 医療及び看護を提供する者との連携 (8) 介護における社会福祉援助技術 (9) 生活支援のためのアセスメントと計画
		科目別担当教官名	<ul style="list-style-type: none"> (1) 生活支援の理念と介護における尊厳の理解 (4) 認知症の理解 (5) 介護におけるコミュニケーションと介護技術 (7) 医療及び看護を提供する者との連携 <ul style="list-style-type: none"> ① 医療・看護との連携の基礎的理解 ② 訪問看護の基礎的な理解 ③ 医療機器、医療用具、薬の基礎的理解 ④ 褥そう予防に関する基礎的な理解 ⑤ リハビリテーション医療の基礎的理解 ⑥ 緊急時の方法 ⑦ ターミナルケアへの対応 (8) 介護における社会福祉援助技術 (9) 生活支援のためのアセスメントと計画
		科目別特徴	<ul style="list-style-type: none"> (1) 生活支援の理念と介護における尊厳の理解 <ul style="list-style-type: none"> ① ノーマライゼーションの樹立 (4) 認知症の理解 <ul style="list-style-type: none"> ① 認知症による生活上の障害を具体的に考察できるよう展開すること (5) 介護におけるコミュニケーションと介護技術 <ul style="list-style-type: none"> ① 歩行、移動・移乗、外出の介護 ② 睡眠、夜間のケア ③ 食事の介護及び口腔ケア、排泄の介護 ④ 入浴・衣服の着脱・整容・清潔の介護(褥そうの防止を含む) (7) 医療及び看護を提供する者との連携 <ul style="list-style-type: none"> ① 医療、看護、介護の連携 (8) 介護における社会福祉援助技術 <ul style="list-style-type: none"> ① 人間としての尊厳と心ある介護 ② 利用者の心情やニーズの対応策を検討させること (9) 生活支援のためのアセスメントと計画 <ul style="list-style-type: none"> ① 情報収集、アセスメント、ケアプラン・サービス計画策定などの演習
	(通信)	<ul style="list-style-type: none"> 科目別通信・事前・事後学習とする内容及び時間 	
			<ul style="list-style-type: none"> (1) 生活支援の理念と介護における尊厳の理解【事後学習 7時間】 <ul style="list-style-type: none"> ① 人間理解と尊厳 ② 生活の考え方 ③ 福祉の支援の考え方 ④ 介護の基本的な視点と意義 ⑤ 地域生活支援と保健・医療・福祉サービス及びインフォーマルな活動等とのトータルなネットワーク ⑥ 利用者の権利と尊厳 (4) 認知症の理解【事後学習 15時間】 <ul style="list-style-type: none"> ① 認知症の医学的背景の理解 ② 認知症の心理・行動の理解 ③ 認知症の利用者への支援・介護の考え方 ④ 認知症介護における医療・保健・福祉、関係機関、地域資源との連携および自立支援のための地域による支え合い ⑤ 家族へのケア

研修機関が公表すべき情報の内訳

研修事業情報	研修カリキュラム	(通信)	科目別通信・事前・事後学習とする内容及び時間	<p>(5) 介護におけるコミュニケーションと介護技術【事後学習 10時間】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 介護の考え方・視点 ② 介護におけるコミュニケーションと信頼関係形成 ③ 高齢者、障害者（児）の理解と心のケア ④ 基本的な介護技術の習得 ⑤ 介護予防の考え方と方法 ⑥ 福祉用具の活用と住宅改修による自立支援 <p>(7) 医療及び看護を提供する者との連携【事後学習 15時間】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 医療・看護との連携の基礎的理解 ② 訪問看護の基礎的理解 ③ 医療機器、医療用具、薬の基礎的理解 ④ 褥そう予防に関する基礎的理解 ⑤ リハビリテーション医療の基礎的理解 ⑥ 緊急時の方法 ⑦ ターミナルケアへの対応 <p>(8) 介護における社会福祉援助技術【事後学習 6時間30分】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 介護におけるソーシャルワークの基礎的理解 ② 介護における相談援助技術の習得 ③ 地域に根ざした包括的なケアの必要性 ④ 地域生活支援の実際 ⑤ 困難事例に対する援助活動の展開 ⑥ 虐待防止、消費者被害、権利擁護への対応 <p>(9) 生活支援のためのアセスメントと計画【事後学習 15時間】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 生活プランの考え方 ② ケアプランとサービス計画の内容・機能 ③ ケアプランとサービス計画の作成手順 ④ ケアプラン・サービス計画とサービス提供の実際 ⑤ 地域生活支援のための地域環境のアセスメント技術と留意点
			通信課程の教材・指導体制・指導方法・課題	<p>日本医療企画出版「介護職員基礎研修課程テキスト」</p> <p>第1巻 生活支援の理念と介護における尊厳の理解 第2巻 介護における社会福祉援助技術 第3巻 医療・看護を提供する者との連携 第4巻 認知症の理解 第5巻 介護におけるコミュニケーションと介護技術 第6巻 生活支援のためのアセスメントと計画</p> <p>講義・演習（通学学習）については、科目ごとの科目主任講師及び科目の中の特定の項目を担当する講師を配置して指導に当たる。科目主任講師が科目の全ての項目を担当する場合もある。研修の効果をもっと高めるために講義・演習は一体的に進める。各科目の研修終了後に試験（筆記1時間、実技の場合は3時間）を実施する。通信学習については、開講日に通信学習課題（添削問題と課題レポート）を配布し、期限を定めて提出を求める。提出された通信学習課題は添削指導を行い、1週間後に受講生に返却する。内容が不十分な場合は期限を定めて再提出させる。通信学習を実施する項目については、通学学習時間内で担当講師による面接指導や演習を行う。質問は、通学学習時間外でも電話やメール等で随時受け付け、2～3日以内にそれぞれの方法で回答する。研修はあらかじめ作成したシラバスに沿って実施する。指導に携わる講師は8名である。</p>
	修了評価		修了評価の方法、評価者、再履修等の基準	<p>各科目の修了評価担当者が、①事前に定めた合格基準、②各科目の修了時の評価ポイントに基づいて修了評価を実施する。合格基準は、講義・演習については、各科目の研修終了後に実施する試験（筆記1時間、実技の場合は3時間）で70点以上、通信学習については、添削問題、課題レポートにおいて70点以上を合格とする。試験、添削問題、課題レポートで70点未満の者及び著しく理解度が不足しているものは、科目の修了を認めず、別途補習を行い再度修了評価をする。</p>

研修機関が公表すべき情報の内訳

講師情報	名前 略歴、現職、資格	<p>中山 大輔 介護福祉士（平成13年5月9日） 介護支援専門員（平成16年3月7日） 財団法人広島原爆被爆者援護事業団 原爆養護ホーム倉掛のぞみ園（11年10ヶ月）</p> <p>他、現場の最前線で活躍する経験豊富な講師陣。</p>
実績情報	過去の研修実施回数 過去の研修延べ参加人数	<p>平成19年度は、12月（8名）で実施、 平成20年度は、6月（14名）、9月（7名）で実施、 平成21年度は、4月（19名）、6月（5名）、8月（7名）で実施、 平成21年6月までは全員修了。</p>
連絡先等	申込み・資料請求先 法人の苦情対応者名 ・役職・連絡先 事業所の苦情対応者名 ・役職・連絡先	<p>〒 733-0036 広島市西区観音新町2-2-15 株式会社 福祉情報センター 電話 082-503-1821 フリーコール 0120-74-1821 Fax 083-503-1824 フリーコール 0120-78-1824</p> <hr/> <p>株式会社 福祉情報センター 養成研修部 部長 田村 秀道 電話 082-503-1821 フリーコール 0120-74-1821 Fax 082-503-1824 フリーコール 0120-78-1824</p> <hr/> <p>株式会社 福祉情報センター 代表取締役 小林 薫 電話 082-503-1821 フリーコール 0120-74-1821 Fax 082-503-1824 フリーコール 0120-78-1824</p>